

NT631/C NS10置き換えガイド

<置き換えに際しての注意点>

NT631-ST211(B)-V または、NT631C-ST15 (B)-V を NS10-TV00(B)-V2 (TFTカラー) に置き換える場合は、一旦画面データを NT631C-V2/V3 に変換する必要があります。

NT631-ST211(B)-V を NS10-TV00(B)-V2 (TFTカラー) に置き換える場合は、TFTカラーの方がELより視野が狭いため見栄えが変わります。

NTとNSでは電源端子台や各コネクタの配置が異なりますので、場合によっては配線の変更が発生します。詳細はP5の「1-2:電源端子台と各コネクタの配線について」を参照願います。

通信方式がメモリリンクの場合、NT631/CとNS10の通信コマンドが異なっていますので、ホスト側のプログラムの変更が必要になります。

詳細はP17「1-4-2」 [2.メモリリンクホスト側プログラムの変更](#) を参照ください。

NS10は消費電力がNT631C-ST15 (B)-V より増加しますので、電源容量に不足が発生しないようにしてください。(NT631-ST211(B)-V の場合はNS10の方が電源容量は少ないです) NT631/Cの制御盤にNS10を取り付ける場合は、専用のアタッチメント(形NS12-ATT01)が必要です。

置き換え対象機種

型式	通信方式
<高コントラストEL> NT631-ST211(B)-V <TFTカラー液晶> NT631C-ST15 (B)-V	上位リンク (RS-232C)
	上位リンク (RS-422A/485)注1
	NTリンク(1:1) (RS-232C)
	NTリンク(1:1) (RS-422A/485)注1
	NTリンク(1:N) (RS-232C)
	NTリンク(1:N) (RS-422A/485)注1
	メモリリンク (RS-232C)
	メモリリンク (RS-422A/485)注1



リニューアル推奨機種

形式	通信方式
<TFTカラー液晶> NS10-TV00(B)-V2	上位リンク (RS-232C)
	NTリンク(1:1) (RS-232C)
	NTリンク(1:N) (RS-232C)
	メモリリンク (RS-232C)

型式	通信方式
<高コントラストEL> NT631-ST211 (B)-V <TFTカラー液晶> NT631C-ST15 (B)-V	三菱A計算機リンク (RS-232C)
	三菱A計算機リンク (RS-422A)
	三菱FX接続 (RS-422A)



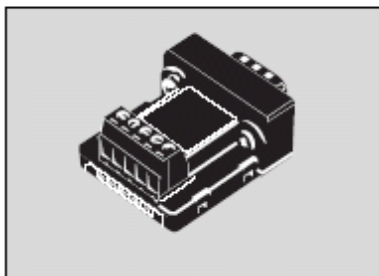
型式	通信方式
<TFTカラー液晶> NS10-TV00(B)-V2	三菱A計算機リンク (RS-232C)
	三菱A計算機リンク (RS-422A)
	三菱FX接続 (RS-422A)

注1 : RS-422A/485 の場合

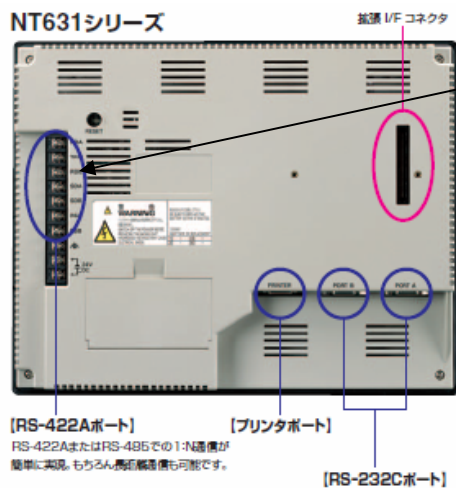
NT631/NT631C-V2 のRS-422A/485 端子台^(注)を使用されている場合は、RS422A変換アダプタが別途必要です。下記RS422A変換アダプタを購入の上、NSのRS232Cポートに装着して下さい。

RS-422A変換アダプタ
形CJ1W-CIF11

RS-232C/RS-422A変換ユニット
形NS-AL002



注) NT631/631C の RS422A/485 端子台について



RS-422A/485 端子台について
NT631/631C は RS-422A / 485 ポートが
端子台に標準装備されています。

1 - 1 : NT631 / CとNS10の主な仕様について

置き換え機種：NT631-ST211(B)-V

NT631-ST211(B)-V と NS10-TV00(B)-V 2 の主な仕様は以下のとおりです。

項目	NT631-ST211(B)-V	NS10-TV00(B)-V2
外形寸法(W, H, D)	315 × 250 × 54mm	315 × 241 × 48.5mm
推奨パネルカット寸法(横 × 縦)	303 × 238mm	302 × 228mm
表示デバイス	EL(モノクロ)	カラーTFT液晶
有効表示エリア(横 × 縦)	211 × 158mm (10.4インチ)	212.5 × 162.4mm (10.4インチ)
表示ドット数(横 × 縦)	640 × 480ドット	
視野角	(制限なし)	左右 ± 60° 上35° 下65°
定格電源電圧	DC24V	
消費電力	30W以下	25W以下
使用周囲温度	0 ~ 50	0 ~ 50

NT631-ST211(B)-V と NS10-TV00(B)-V 2 に関しては以下の違いがありますのでご注意ください。

1) 外形寸法について

外形寸法はNS10の方が少し小さくなります。
(W:同じ H:9mm小さい D:5.5mm小さい)

2) パネルカット寸法について

NS10のパネルカットはNT631より小さくなります。NS10に置き換えの際は、別売りのアタッチメント形NS12-ATT01(P19参照)を使用することで既存のNT631パネルカットにNS10を設置できます。

3) 表示部の見栄えについて

NS10にリニューアルすることにより、表示部がEL(橙、黒色の表示)からTFTカラーに変更になりますので、表示部の見栄えが大きく変わります。

4) 電源について

同じ電源電圧であり消費電力も低下しますので、電源の問題はありません。

5) 盤内配線について

電源端子台や232Cコネクタの配置がNT631/Cと異なっていますので、P5の「1-2:電源端子台と各コネクタの位置について」の寸法図を参考に配線の変更をお願いします。
NT631のRS-422A/485端子台を使用されている場合はRS-422A変換アダプタを準備ください。

NT631-ST211(B)-V(高コントラストEL)の画面データをNS10に変換する場合、NS10の画面をEL画面と同じ「橙と黒」に変換することができます。
詳細はP11「3.NS変換画面をEL色(橙と黒)で変換したい場合」を参照ください。

置き換え機種：NT631C-ST15 (B)-V

NT631C-ST15 (B)-V と NS10-TV00(B)-V2 の主な仕様は以下のとおりです。

項目	NT631C-ST15 (B)-V	NS10-TV00(B)-V2
外形寸法(W, H, D)	315 × 250 × 54mm	315 × 241 × 48.5mm
推奨パネルカット寸法(横 × 縦)	303 × 238mm	302 × 228mm
表示デバイス	カラーTFT液晶	カラーTFT液晶
有効表示エリア(横 × 縦)	211 × 158mm (10.4インチ)	212.5 × 162.4mm (10.4インチ)
表示ドット数(横 × 縦)	640 × 480ドット	
視野角	左右 ± 60° 上 35° 下 65°	
定格電源電圧	DC24V	
消費電力	18W以下	25W以下
使用周囲温度	0 ~ 50	0 ~ 50

NT631C-ST15 (B)-V と NS10-TV00(B)-V2 に関しては以下の違いがありますのでご注意ください。

1) 外形寸法について

外形寸法はNS10の方が少し小さくなります。

(W: 同じ H: 9mm小さい D: 5.5mm小さい)

2) パネルカット寸法について

NS10のパネルカットはNT631Cより小さくなります。NS10に置き換えかえの際は、別売りのアタッチメント形NS12-ATT01(P19参照)を使用することで既存のNT631CパネルカットにNS10を設置できます。

3) 表示部の見栄えについて

表示部の見栄えは変わりません。

4) 電源について

電源電圧は同じですが、消費電力はNT631Cの18W以下に対しNS10では25W以下と増加します。電源容量に不足が発生しないようにしてください。

5) 盤内配線について

電源端子台や232Cコネクタの配置がと異なっていますので、P5の「1-2: 電源端子台と各コネクタの位置について」の寸法図を参考に配線の変更をお願いします。

NT631CのRS-422A/485端子台を使用されている場合はRS422A変換アダプタを準備ください。

6) メモリリンクについて

メモリリンクとは、PTとパソコンやマイコンボードの上位機器間でマンドによる通信をする方式です。

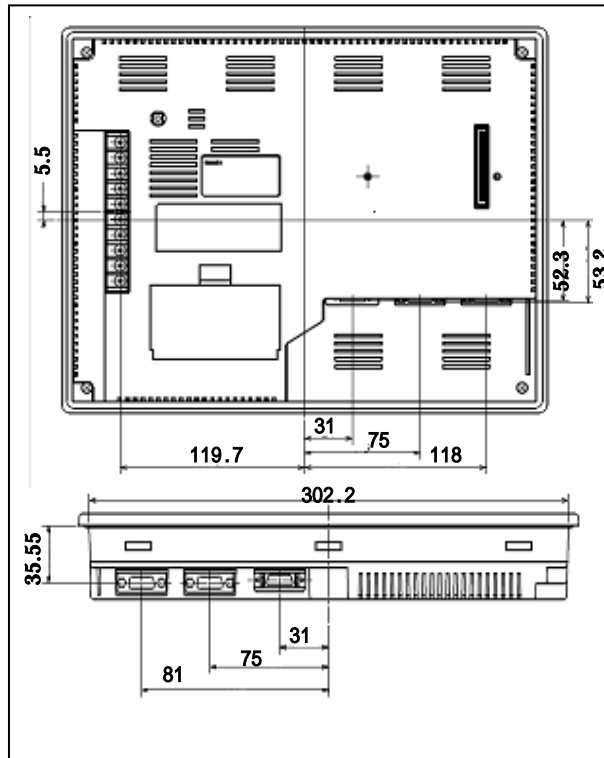
NT631CとNS10とでは、PT内部のメモリ構成と通信コマンドが異なります。このため、ホスト側プログラムの変更が必要になります。

1 - 2 : 電源端子台と各コネクタの位置について

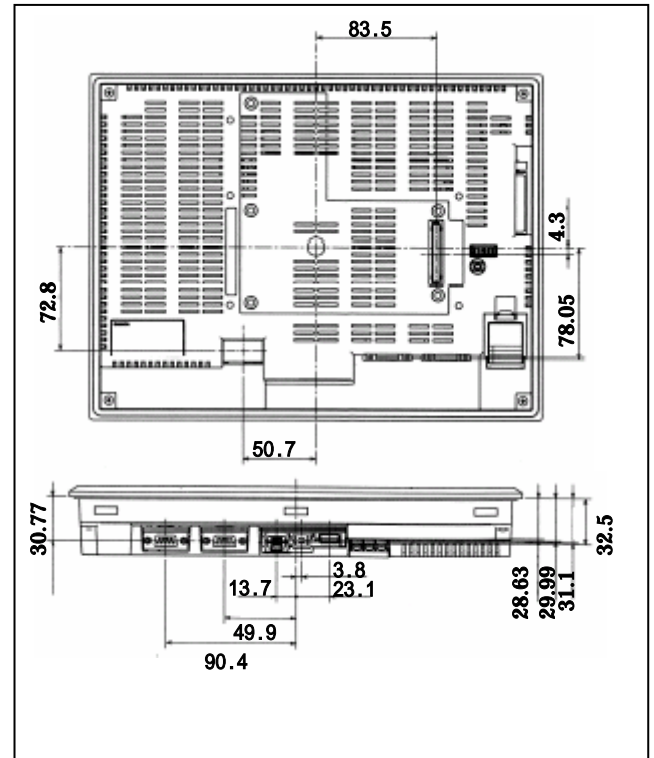
NT631/CとNS10では電源端子台と各コネクタの位置が異なります。既存の盤内配線をそのまま使用する場合は、場合によっては配線の変更が必要になります。

下記寸法図を参考に盤内配線を考慮願います。

NT631 / C



NS10



1 - 3 : NT 6 3 1 / NT 6 3 1 C 画面データのコンバートについて

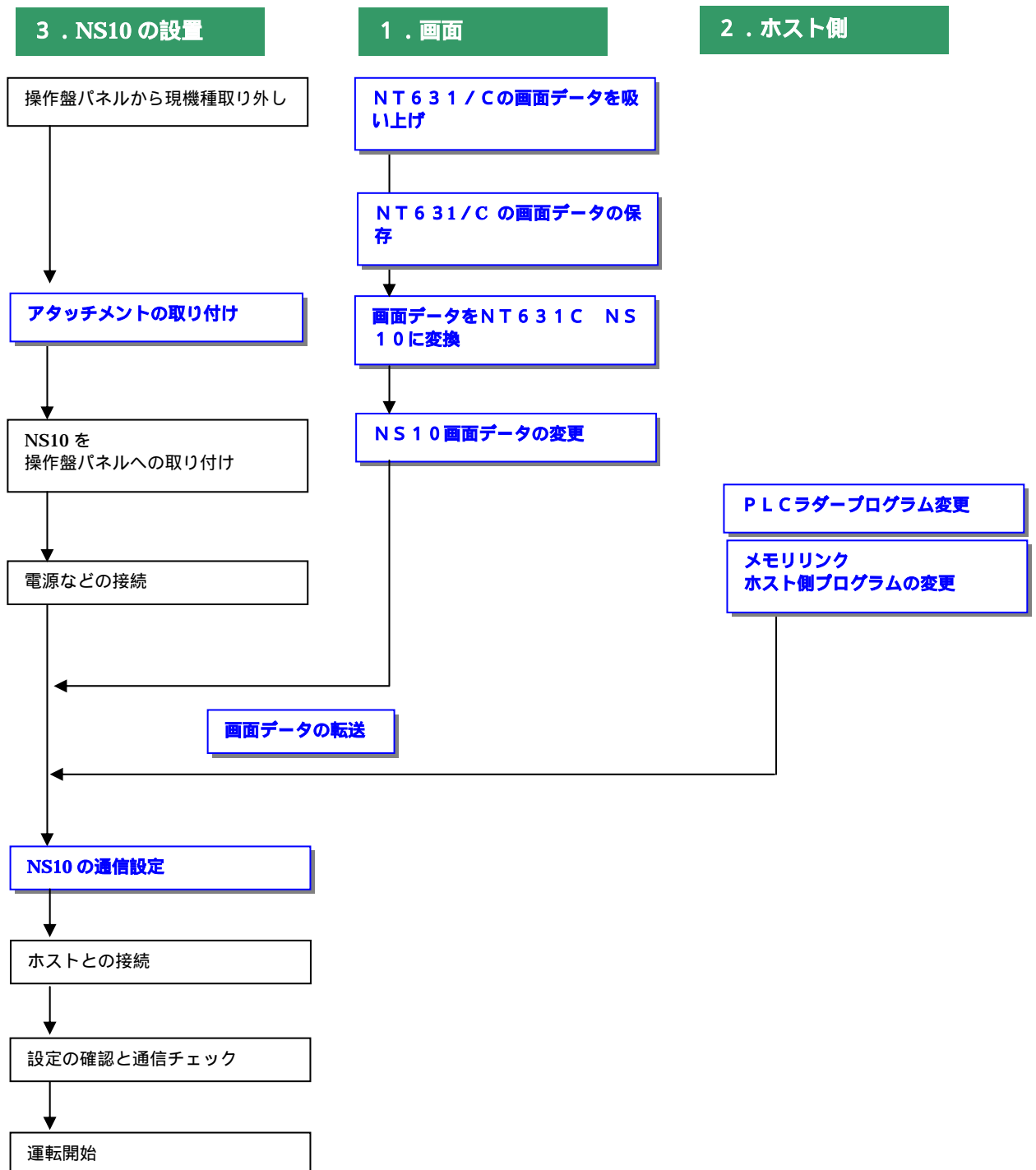
NT 6 3 1 / 6 3 1 C の画面データを NS 1 0 に変換します。

詳細は P 7 の「1 - 4 - 1) : 画面の置き換えについて」を参照願います。

1 - 4 : NS 1 0 へのリプレースの手順

NS 1 0 へのリプレースは以下の手順に従って置き換えて下さい。

NS 1 0 にリニューアルするまでの手順



1 - 4 - 1) : 画面の置き換えについて

画面の置き換えに際しては以下のサポートツールが必要ですのでご用意願います。

必要なツール

- ・ NT シリーズサポートツール Ver4 for Windows
形 NT-ZJCMX1-V4
- ・ NS 用作画ツール CX-Designer
形 NS-CXDC1-V1
- ・ パソコン接続ケーブル
RS-232C 接続ケーブル 形 XW2Z-S002
USB シリアル変換ケーブル 形 CS1W-CIF31

1 . NT631/NT631C-V の画面データを吸い上げ

- 1 . NT631/NT631C-V とパソコンを接続します。
- 2 . NT サポートツール側の通信設定をします。
メニューバーから[接続] 通信設定を選択し通信ポートと通信速度を設定します。



通信 Port の COM1 ~ COM 8 を選択します

通信速度を選択します。

- 3 . NT631/NT631C-V を転送モードにします。
NT631/NT631C-V の画面の 4 隅のうち任意の 2 点を同時に押してシステムメニューに入り、[転送モード]を選択して、転送モードメニューを表示して「サポートツール転送」を選択します。
- 4 . NT サポートツールで画面データをアップロード
メニューバーから[オプション] [アップロード]を選択し全画面をアップロードします。
アップロードが終了した後、ファイルを保存します。

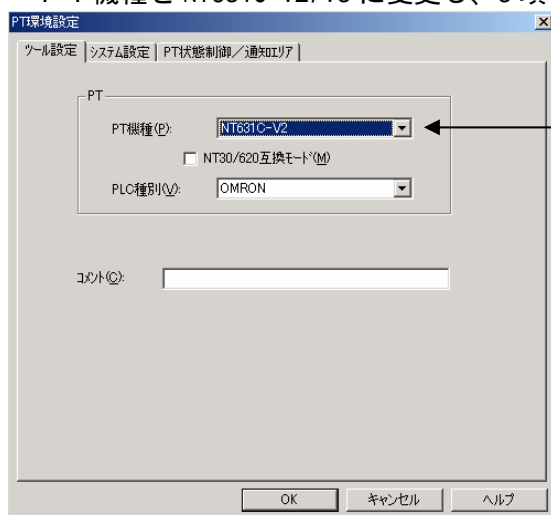
2 . NT631C-V2/V3 への画面データ保存

1 . [NT631-ST211-V または NT631C-ST15 -V ナ/V1]の場合

画面データを NT631C-V 2 /V3 に変換する必要があります。

NTサポートツールにて、以下の方法で NT631C-V2/V3 に変換できます。

- ・メニューバーから[ツール] [PT 環境設定]を選択し、「ツール設定」タブを表示させて PT 機種を NT631C-V2/V3 に変更し、3 項の要領にて mmi 形式で保存して下さい。



PT 機種を NT631C - V2/V3 に指定
NTST のバージョンによっては
NT631C-V2 と表示される場合があります。

各部品の表示色の設定

NT631-ST211-V の場合は、PT 機種変更後の画面は白 / 黒の 2 色に変換されますので、画面をカラー化する場合、部品ごとに表示色を設定してください。

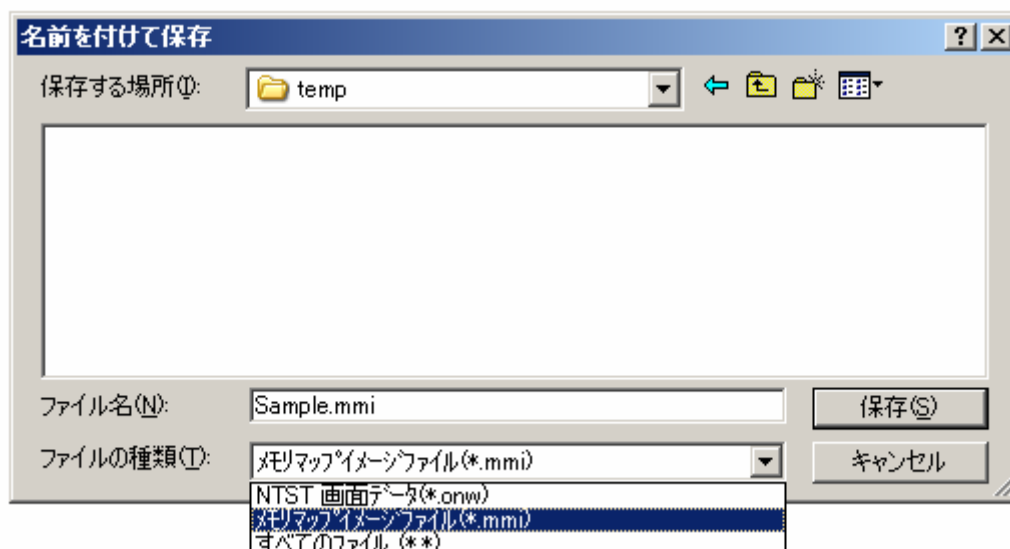
2 . [NT631C-ST15 (B)-V2/V3]の場合

3 項の容量にて mmi 形式に画面を保存してください。

3 . 画面データの mmi 形式保存

NT631C-V2/V3 に変換した画面データファイルを以下の手順で.mmi 形式に保存してください。
(当ガイドでは、Sample.mmi として保存しています。)

「ファイル」 「名前をつけて保存」でファイルの種類を”メモマップイメージファイル(.mmi)”にて保存する。



3. NT631C画面データをNS10に変換

P 8の「3.画面データの mmi 形式保存」にて保存した NT631C 画面データ(.mmi 形式)を以下の要領で NS 1 0 に変換します。

1. NT31C_NT631C変換支援ツールの起動

「NT31C_NT631C変換支援ツール」を次の手順で起動します。

・[CX-One をインストールした場合]

「スタートメニュー」「全てのプログラム」「Omron」「CX-One」「CX-Designer」
「NT31C_631C変換支援ツール」

・[CX-Designer 単体をインストールした場合]

「スタートメニュー」「全てのプログラム」「Omron」「CX-Designer」
「NT31C_631C変換支援ツール」

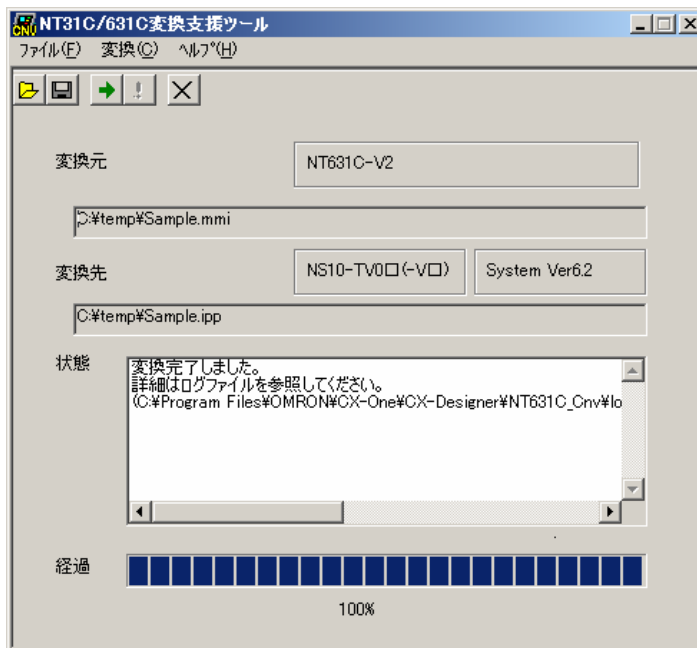


2. NS10画面に変換

「ファイル」「変換元ファイルを開く」で、P 8の「3.画面データの mmi 形式保存」にて保存した拡張子 mmi ファイル (Sample.mmi) を選択する。

「ファイル」「変換後ファイルの保存先」にてファイルの保存先とファイル名を指定する。(Sample.ipp)

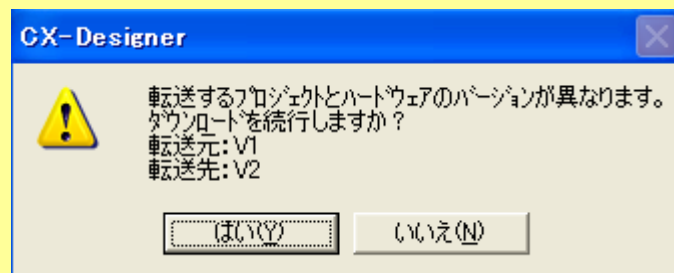
「変換」「変換実行」にて変換を開始する。



変換元ファイル名と変換先ファイル名をCドライブのtempフォルダのファイル「Sample」として例示しています

「NT31C_NT631C変換支援ツール」は、NT631C-V2/V3の画面データをNS10-TV0-V1に変換します。

注1. 「NT31C_NT631C変換支援ツール」でNT631C-V2の画面データをNS10に変換するとNS10-TV0-V1に画面が変換されます。
上記画面データはNS10-TV0 (B)-V2に転送が可能ですが、転送時CX-Designerに以下のワーニングエラーが表示されます。

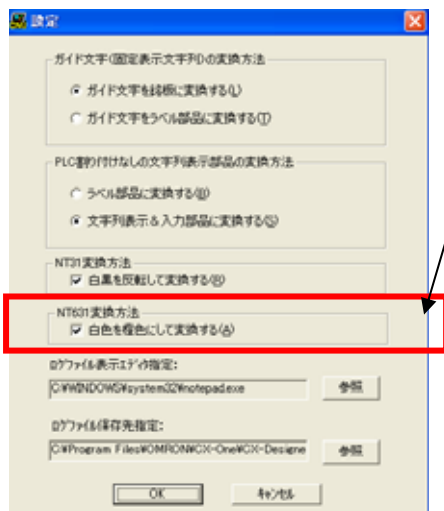


画面データをV2に変換する場合はP12の「3.NS10-V1画面 NS10-V2画面コンバート」を参照し、画面データをV2にコンバートして下さい。

「NT31C_NT631C変換支援ツール」を終了します
変換完了後、「x」ボタンを押します。

3. NS変換画面をEL色（橙と黒）で変換したい場合

NT631-ST211(B)-V をNS10に変換する場合、NT631がELのためNS10に置き換え時**表示色をEL表示（橙と黒）で変換したい場合は**、「NT31C_NT631C変換支援ツール」の「設定画面」で



「NT631変換方法：白色を橙色で変換する」にチェックを入れて下さい。

「NT31C_NT631C変換支援ツール」の設定画面は「変換」「設定」で開きます。

4 . NS 1 0 - V 1 画面 NS 1 0 - V 2 画面コンバート

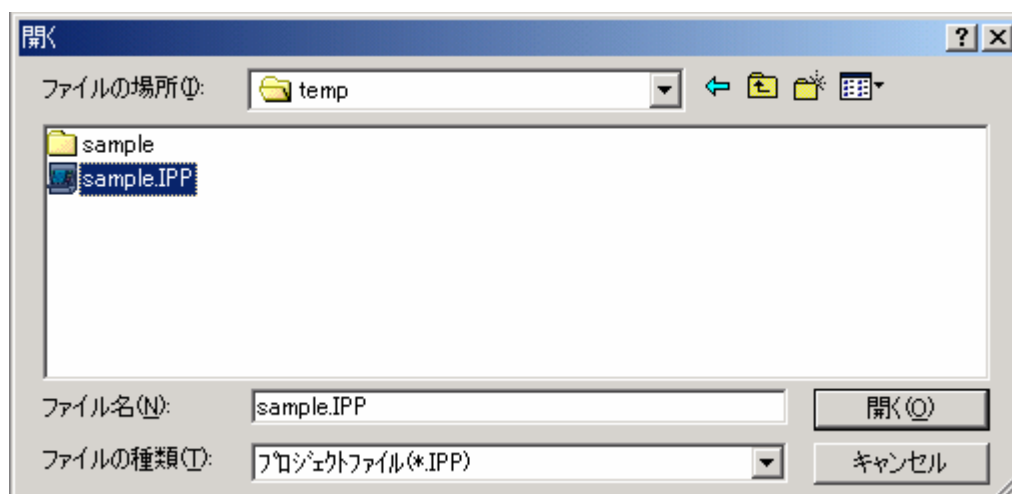
「NT31C_NT631C 変換支援ツール」で変換された NS10-TV0 -V1 画面データは以下の手順で、NS5-TV0 -V2 画面データにコンバートが可能です。

- 「CX - Designer」を起動
- 「CX - Designer」を起動します。
 - ・ [CX-One をインストールした場合]
「スタートメニュー」 「全てのプログラム」 「Omron」 「CX-One」 「CX-Designer」
 - ・ [CX-Designer 単体をインストールした場合]
「スタートメニュー」 「全てのプログラム」 「Omron」 「CX-Designer」

「CX - Designer」にて機種変更します

1) NS10-TV0 -V1 のプロジェクトを開きます。

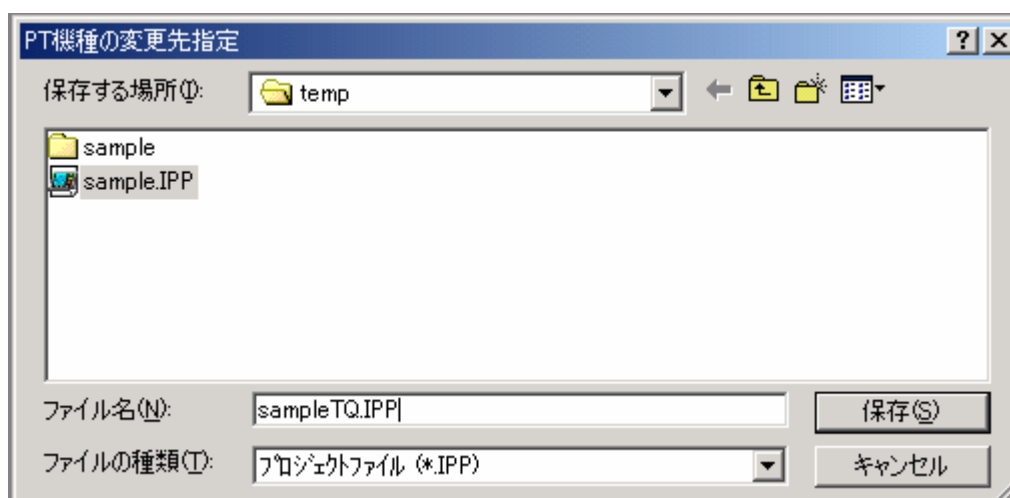
[ファイル] [プロジェクトを開く]にてP 9の「2 . NS 1 0 画面に変換」で NS 1 0 に変換したファイル (Sample.ipp) を指定し、 [開く] を押します。



2) NS10-TV0 -V2 に種変更します。

・ [ツール] [コンバート] [機種]にて[NS10-TV0 -V2]を選択します。

・ 変更先のファイル名 (例 : SampleTQ.ipp) を指定し、「保存」を押します。



4 . NS 1 0 画面データの修正

NT 6 3 1 C 画面データが NS 1 0 画面データに変換されましたが、NT 6 3 1 C と NS 1 0 では互換性がない箇所がありますので、変換後に NS 1 0 画面データの修正が必要になります。修正箇所に関しては、付録「NT NS 画面変換後の注意点」を参照願います。

5 . 画面データの転送

C X - D e s i g n e r にて上記の修正画面を NS10 に転送します。

転送方法を選択します。

[P T] - [転送] - [転送設定] にて通信方式 (USB、Serial 等) を選択します。

画面データを転送します。

[P T] - [転送] - [転送 [パソコン P T]] を選択します。

1 - 4 - 2) : ホスト側プログラムの変更について

ホスト側が PLC のとき

1 . PLC ラダープログラム変更

PTにはPLC - PT間で情報をやり取りするエリアがあります。この情報をやり取りするエリアを、NTシリーズでは「PT状態制御エリア / PT状態通知エリア」、NSシリーズでは、「システムメモリ」と呼びます。

NTシリーズの「PT状態制御エリア / PT状態通知エリア」とNSシリーズの「システムメモリ」では、メモリ構成に違いがあります。

システムメモリの違いによるラダープログラムの変更

ラダープログラムで、「PT状態制御エリア / PT状態通知エリア」を参照している場合には、NSのシステムメモリの構成にあわせてラダープログラムを変更してください。

NT631C「PT状態制御エリア / PT状態通知エリア」とNSシリーズの「システムメモリ」の対応関係は次表を参照ください。

なお、NSシリーズには各種メモリテーブルがありませんので、メモリテーブルコピー等の一部の機能に関しては、ラダープログラム側で実現する必要があります。

PT状態制御エリアの対応表

PLC の CH	NT631 / C の割付	NS のシステムメモリ
n	画面番号 (16進4桁 BCD / バイナリ)	\$SW0
n+1	コピー元メモリテーブル番号 (16進4桁 BCD / バイナリ)	(機能なし)
n+2	コピー先メモリテーブル番号 (16進4桁 BCD / バイナリ)	(機能なし)
n+3	PT 状態制御ビット	\$SB* 次ページの「PT状態制御ビットの対応表」を参照して下さい。

注1) NT631 / 631Cの画面を当置き換えガイド手順でNS10にコンバートしますと、NT31 / 31Cの「PT状態制御エリアのnCH」アドレスが自動的にNSのシステムメモリ「\$SW0」アドレスに割付られます。

PT状態制御ビットの対応表

ビット	NT631 / Cの状態制御ビット	NSのシステムメモリ
15	画面表示 する / しない	\$SB9
14	処理の優先登録 登録 / 解除	(機能なし)
13	連続ブザー 鳴らす / 止める	\$SB12
12	断続ブザー(短音) 鳴らす / 止める	\$SB13
11	表示履歴初期化 する / しない	(機能なし)
10	未使用	-
9	断続ブザー(長音) 鳴らす / 止める	\$SB14
8	バックライトモード 点灯 / 点滅	\$SB10
7	画面印刷 する / しない	\$SB25 / \$SB26
6	PT ウィンドウオープン 禁止 / 許可	(機能なし)
5	数値・文字列入力 禁止 / 許可	\$SB19
4	PT 側画面切り替え 禁止 / 許可	(機能なし) (注1)
3	メモリテーブルコピー実行 する / しない	(機能なし)
2	メモリテーブルコピー種別 数値 / 文字列	(機能なし)
1	アラーム履歴初期化 する / しない	\$SB32
0	未使用	-

注1) NSでは画面切り替えコマンドボタンの入力許可ビットで実現できます。

PT状態通知エリアの対応表

PLCのCH	NT631/Cの割付	NSのシステムメモリ
m	数値・文字列メモリテーブル番号 (16進4桁 BCD/バイナリ)	(機能なし)
m+1	PTステータス通知ビット	\$SB* 下記「PTステータス通知ビットの対応表」を参照して下さい。

PTステータス通知ビットの対応表

ビット	NT631/CのPTステータス通知ビット	NSのシステムメモリ
15	PT稼働状況 運転中/停止中	\$SB1
14	未使用	
13	バッテリー 低下/正常	\$SB4
12	画面切替ストロブ 切替あり/なし	\$SB2
11	数値入力ストロブ 入力あり/なし	(機能なし)
10	文字列入力ストロブ 入力あり/なし	(機能なし)
9	未使用	-
8	未使用	-
7	プリンタ稼働状況 印刷中/停止中	\$SB30 / \$SB31
6	バックライト状況 消灯中/点灯・点滅中	\$SB11
5	グローバルウィンドウオープン状況 オープン/クローズ	(機能なし)
4	ローカルウィンドウオープン状況 オープン/クローズ	(機能なし)
3	ローカルウィンドウオープン状況1 オープン/クローズ	(機能なし)
2	未使用	
1	未使用	
0	未使用	

2. メモリリンクホスト側プログラムの変更

メモリリンクとは、ホスト側のパソコンやマイコンボードとPTとの間の通信をコマンドで行う方式です。NTシリーズとNSシリーズとでは、PT内部のメモリ構成と通信コマンドが異なりますので、リニューアルに際してはホスト側のプログラムの変更が必要です。

通信コマンドの違いによるホスト側プログラム変更

NT631/CとNSシリーズとの「PT内部のメモリ構成」と「メモリリンクコマンド」の違いを次表の比較表で示します。

NSシリーズには各種メモリテーブルがありませんので、各種メモリテーブルの読出/書込等は直接PTメモリの読出/書込コマンドを使ってNT631/Cと同じ動きをするようにホスト側プログラムを変更してください。

PT内部のメモリ構成比較表

PTメモリ	NTシリーズ		NSシリーズ		
	接点 チャンネル	共通 0000 ~ 9999	接点 チャンネル	\$B0~32767 \$W0~32767	\$HB0~8191 \$HB0~8191
メモリテーブル	数値メモリテーブル 文字列メモリテーブル ビットメモリテーブル		なし		
バッテリー バックアップ	される		されない		される

メモリリンクコマンド

	NTシリーズ	NSシリーズ
RM	PTメモリ読出	PTメモリ(\$W)読出
RB	ビットメモリテーブル読出	PTメモリ(\$B)読出
RN	数値メモリテーブル読出	(コマンドなし)
RS	文字列メモリテーブル読出	(コマンドなし)
WM	PTメモリ書込	PTメモリ(\$W)書込
WB	ビットメモリテーブル書込	PTメモリ(\$B)書込
FR	画面データコメント読出	(コマンドなし)
PT	システム状態読出	(コマンドなし)
WN	数値メモリテーブル書込	(コマンドなし)
WS	文字列メモリテーブル書込	(コマンドなし)
FM	PTメモリー一括書込(FILL)	PTメモリ(\$W)一括書込(FILL)
FS	-	PTメモリ(\$B)一括書込(FILL)
CN	数値メモリテーブルクリア	(コマンドなし)
CS	文字列メモリテーブルクリア	(コマンドなし)
CB	ビットメモリテーブルクリア	(コマンドなし)
ST	タッチスイッチ入力通知	(コマンドなし)
SN	数値入力通知	(コマンドなし)
SS	文字列入力通知	(コマンドなし)

PM	ダイレクトエリア変更通知	(コマンドなし)
SM	PTメモリ変更通知	PTメモリ(\$W)変更通知
SB	-	PTメモリ(\$B)変更通知
MC	PT動作モード切替	(コマンドなし)
RR	再送要求	(コマンドなし)
ER	エラーレスポンス	エラーレスポンス
RD	-	PTメモリ(\$HW)読出
RH	-	PTメモリ(\$HB)読出
WD	-	PTメモリ(\$HW)書込
WH	-	PTメモリ(\$HB)書込
FD	-	PTメモリ(\$HW)一括書込(FILL)
FH	-	PTメモリ(\$HB)一括書込(FILL)
SD	-	PTメモリ(\$HW)変更通知
SH	-	PTメモリ(\$HB)変更通知

NT631/631Cメモリリンクコマンド詳細は「NT31/631 シリーズ リファレンスマニュアル(SBSA-508D) 4-3: コマンドレスポンス」を参照願います。

NS10メモリリンクコマンド詳細は「NS シリーズ ホスト接続マニュアル(SBSA-518) 3-3: 通信手順」を参照願います

1 - 4 - 3): NS 1 0 の設置について

NS 1 0 を制御盤に取り付け、P L C と接続します。

1 . アタッチメント (NS 1 2 - ATT01) の取り付け

NS 1 0 は NT 6 3 1 / C と比べサイズが小さく、パネルカット寸法も小さくなっています。
NT 6 3 1 / C を取り付けていた制御盤に NS 1 0 を取り付ける場合は、下記のアタッチメントを制御盤に取り付けた後、NS 1 0 を取り付けて下さい。

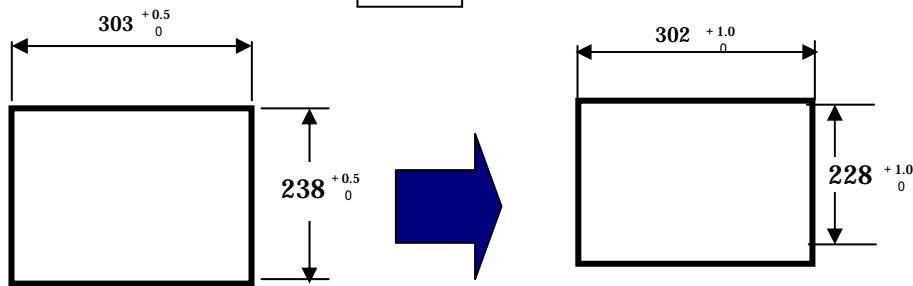
NT 6 3 1 C NS 1 0 用アタッチメント : 形 NS 1 2 - ATT 0 1

パネルカット寸法の違いとアタッチメント

NT631/C 推奨パネルカット寸法

+ 公差
- 公差

NS 1 0 推奨パネルカット寸法



NS10 取り付け用アタッチメント
形 NS12-ATT01



2 . NS 1 0 の操作盤への取り付け

アタッチメントを制御盤に取り付けた後、NS 1 0 を取り付けます。
取り付けは NS 1 0 付属の専用取り付け金具を使用します。

3 . 電源などの接続

NT 6 3 1 / C と NS 1 0 は電源端子台やコネクタの位置が異なります。
P 5 の「 1 - 2 : 電源端子台と各コネクタの位置について」を参照し、電源線や通信ケーブル等の接続をします。

4 . NS 1 0 の通信設定

PLC との通信方式等の通信設定を NS 本体のシステムメニューで設定します。

システム設定

- ・NS 本体のタッチパネルの 4 隅のうち任意の 2 個を同時に押し「システムメニュー」に入ります。
 - ・「システムメニュー」の画面の「通信設定」タブを押します。
 - ・通信方式や通信条件を設定します。
 - ・通信以外にも P T 動作にかかわる各種設定を行います。
- 設定内容の詳細については「NS シリーズセットアップマニュアル (SBSA-5 1 7) の 6 章「システムメニューの操作」を参照ください。

補足：通信設定やシステム設定は、CX-Designer のプロジェクトワークスペースの「通信設定」、「システム設定」で設定することができます。